

リスボン市：「リスボン・インテリジェント・マネジメント・プラットフォーム（PGIL）」

都市概要

国名/都市名	ポルトガル/リスボン市	社会情勢・インフラ・文化	公用語：ポルトガル語 インターネット普及率：86%(2023) 主要な産業分野：テクノロジー、観光、金融
人口	54万人（2021年時点）		
行政区分上の位置づけ	市	その他都市の特徴	リスボン市の人口は約54万人だが、周辺都市を合わせた「リスボン都市圏」といわれる周辺エリアを合わせた人口は300万人以上。毎日市外から100万人がリスボン市内に流入している。
各種デジタルランキング上の位置づけ	「国連電子政府調査2024におけるLOSI (Local Online Service Index)」で39位 2020年に欧州グリーン首都賞を受賞		

https://jpn.nec.com/smartcity/case/lisbon-council/images/catalog_lisbon_council.pdf



「リスボン・インテリジェント・マネジメント・プラットフォーム（PGIL）」 (1/5)

事例概要

所掌組織

リスボン市議会 リスボン都市管理・情報センター
 (Câmara Municipal de Lisboa Centro de Gestão e
 Inteligência Urbana de Lisboa)

データ管理プラットフォーム 「リスボン・インテリジェント・マネジメント・プラットフォーム」の構築

目的

都市全体のDXを推進し、自治体の活動を統合的に管理することにより、都市の安全性やモビリティ、市民のQoLなどをより高いレベルで実現する

機能

- PGILは市が運営する10種のシステムに加え、空港や鉄道、交通局、環境関係、エネルギー、警察など30以上の外部システムとのデータ連携を実現し、大量のデータをリアルタイムで受信、表示、処理することができる。
- 主な機能は以下のとおり。
 - 運用管理：警察・消防などが緊急事態の発生を監視し、効率的な対応を可能にする。
 - イベント監視：モバイルデバイスの数、緊急事態、交通量などその地域で起こっていることをマップ上で把握できる。
 - 通勤時の動態監視：通信事業者からのデータにより、都市の出入りの流れを監視し、動きや最も密集しているエリアの把握が可能

取組概要

沿革

2017年：リスボン・インテリジェント・マネジメント・プラットフォームを構築
 2019年：リスボン都市データ研究所を設立
 2020年：市民向けアプリ「Lisboa.24」を提供開始



「リスボン・インテリジェント・マネジメント・プラットフォーム（PGIL）」 (2/5)

調査内容

背景	<p>設立のきっかけ</p> <p>50万人の住民の質の向上をさせながら毎日100万人の人々の流入に対応する必要があった。質の高いデータが優れた都市管理につながると考えたが、必要な情報がそれぞれ別の場所に分散していた。</p> <p>設立の経緯</p> <p>リスボン市が市民の生活の質（QOL）改善と都市のセキュリティ強化を目指したスマートシティインフラの構築をNECポルトガル社へ委託。NECはFIWAREを活用しオープンAPIを使うことにより相互運用性が高い仕組みでPGILを構築した。</p>
PGILの ミッション	<ul style="list-style-type: none">市内の情報を統合して、活用を可能にすること市民へのリアルタイムな情報提供（Lisboa.24）意思決定支援のための分析を支援し、市町村のスマートシティ開発に役立てること
予算	<p>2023年の都市管理センターの予算執行額は€38,130,354（約62億6700万円） ※PGILの構築やLiaboa.24アプリの構築予算は確認できず</p>
人員体制	<p>確認できず</p>
参考 出典	<ul style="list-style-type: none">ミッション、「リスボン市議長からのお知らせ」、https://www.am-lisboa.pt/documentos/1668615944H0iON4up3Di21MX0.pdf、2024-10-24背景、「NEC リスボン市導入事例」、https://jpn.nec.com/smartcity/case/lisbon-council/images/catalog_lisbon_council.pdf、2024-10-24予算、「活動報告書と評価」、https://www.lisboa.pt/fileadmin/portal/municipio/organizacao/gestao-avalia%C3%A7%C3%A3o/siadap1/2023/RA_CGIUL_2023.pdf、2024-10-24 <p>※引用・参考箇所、引用・参考先情報、引用・参考先 URL、引用・参照日を記載</p>

調査内容

特徴的な
機能

■ 市民向け情報共有アプリ「Lisboa.24」

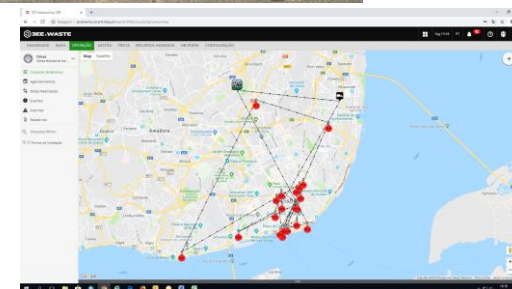
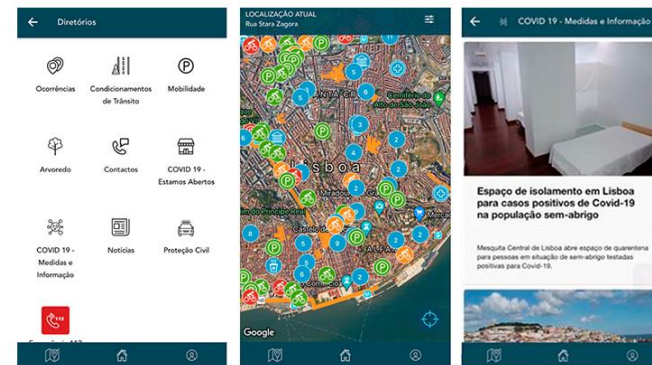
- 市民生活に必要な情報や新型コロナウイルス対策に関する情報を、スマートフォンやタブレット等を通じて提供・可視化するアプリ。
- 交通規制や住民へのお知らせのほか、駐車場の空き状況や公共自転車シェアリングのコンテンツが利用可能。

■ 公共安全の向上

- 市内に設置したカメラの映像を分析し異常行動を検知
- PGILを通じて、警察、消防などに情報が連携されている。
- 外部機関とのデータ連携は、警察や消防など救急サービス従事者との情報共有を円滑化するだけでなく、事件の種類ごとにワークフローを自動化することも可能にしている。関連機関は事件の発生時、自らが積極的に対処できるようになり市管理者は、適切な対応がなされているかの対応状況を確認できる。

■ スマートごみ箱

- 市内のごみ箱2000個にセンサーが取り付けられており、満杯になった時に知らされる仕組み。
- 廃棄物処理事業者は満杯になったごみ箱のみ片づけをすることで廃棄物処理と資源管理の効率が向上。



参考
出典

- 機能、「NEC HP News Room」、https://jpn.nec.com/press/202007/20200708_01.html、2024-10-24
※引用・参考箇所、引用・参考先情報、引用・参考先 URL、引用・参照日 を記載

「リスボン・インテリジェント・マネジメント・プラットフォーム（PGIL）」 (4/5)

調査内容

2023年度 成果

新しいデータソースのプラットフォームへの統合

- 目標 4 件に対し、達成は 6 件（達成率150%）

新機能・ダッシュボードの開発

- 目標 5 件に対し、達成は 8 件（達成率160%）

評価

- ポルトガル内のICTの採用と実装における好事例として、APDSI（情報社会推進開発協会）から「2023年デジタルトランスフォーメーション賞」で佳作を受賞。
- ポルトガル通信開発協会（APDC）より経済開発部門で「2023年未来の都市と地域」賞を受賞。この賞は都市をより住みやすく、持続可能で、経済的に存続可能なものにする先駆的なプロジェクト、アイデア、戦略を表彰するもの。

今後の展開

2030年に向けた方向性

- モビリティ関連システムの集約とPGILを通じての管理・制御・監視
- 市民への情報提供による最適なモビリティの選択肢の提案
- 他の制御・管理・情報システムへの接続
- オープンデータ化の推進によるイノベーション促進

参考 出典

- 成果、「リスボン市議長からのお知らせ」、<https://www.am-lisboa.pt/documentos/1668615944H0iON4up3Di21MX0.pdf>、2024-10-24
 - 評価、「リスボン都市管理情報センター 活動報告」、https://www.lisboa.pt/fileadmin/portal/municipio/organizacao/gestao-avalia%C3%A7%C3%A3o/siadap1/2023/RA_CGIUL_2023.pdf、2024-10-24
 - 今後の展開、「MOVE2030」、https://www.lisboa.pt/fileadmin/portal/temas/mobilidade/documentos/BrochuraMOVE_2030.pdf、2024-10-24
- ※引用・参考箇所、引用・参考先情報、引用・参考先 URL、引用・参照日を記載

「リスボン・インテリジェント・マネジメント・プラットフォーム（PGIL）」 (5/5)

調査内容

統合データ

PGILでは市が運営する10種のシステムに加え、空港や鉄道、交通局、環境関係、エネルギー、警察など30以上の外部システムとのデータ連携を実現している。

連携データの例は以下の通り。

- 交通渋滞の発生状況をはじめとした、交通データ
- 火災の発生箇所などの災害の発生状況
- CO2の発生量
- ごみ箱に設置されたセンサー
- 灌漑用水に設置されたセンサー
- 市内に設置されたカメラ映像
- 駐車場やレンタサイクルの空き情報

参考 出典

- 統合データ、NEC事例紹介、https://jpn.nec.com/press/202007/20200708_01.html、2024-12-4

※引用・参考箇所、引用・参考先情報、引用・参考先 URL、引用・参照日 を記載

ポルトガルの国民IDについて

調査内容

市民カードについて

ポルトガルの市民カード

市民カード（Cartão de Cidadão、CC）はポルトガル国内に市民権を持つ住民に発行される、チップが組み込まれた物理的な身分証明書。カードを保持している人が公的機関や民間団体で、ポルトガル市民権を持っていることを証明することができる。

この市民カードは、以下の役割を包含している。

- 市民身分証明書
- 納税者識別
- 国民健康サービス（SNS）の利用者であること
- 社会保障の身分証明書



オンラインポータルについて

デジタルモバイルキー（CMD）

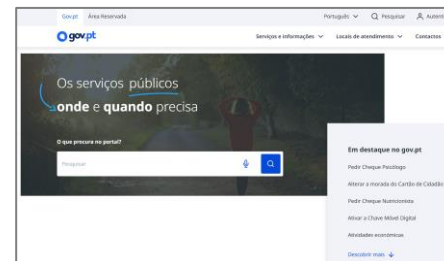
デジタルモバイルキー（Chave Móvel Digital、CMD）は市民カードに紐づいたアカウントで、これを持つことによってオンラインポータル「gov.pt」などから行政サービスを受けることができる。

2021年時点で、200万人以上のアクティブユーザーが確認されている。

オンラインポータル「gov.pt」

ポータルにCMDを使ってログインすることにより、様々な行政サービスを受けることができる。

- 住民票の住所変更
- 運転免許証の更新
- 納税者番号の申請
- 出生届の提出
- 学校の入学願書の提出や転校届の提出



参考出典

- 市民カードについて、モバイルデジタルキーHP、<https://www.autenticacao.gov.pt/web/guest/o-cartao-de-cidadao>、2024-12-3
 - オンラインポータルについて、デジタルモバイルキーHP、<https://www.autenticacao.gov.pt/web/guest/a-chave-movel-digital>、2024-12-3
- ※引用・参考箇所、引用・参考先情報、引用・参考先 URL、引用・参照日を記載